

平成30年度の北信地域障がい福祉自立支援協議会に向けて

部会名	目的	部会長	構成機関(下線は本年度新規参加)	事務局	29年度の取り組み・成果	30年度に向けて
雇用支援ネットワーク部会	障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めていくための、関係機関による連携協力体制の構築を目指すことを目的とする。	高水福祉会 常務理事 丸山様	飯山公共職業安定所・株式会社アルビスファーム信州なかの・ふつくら工房ふるさと 北信地域振興局商工観光課・長野地域振興局商工観光課・北信保健福祉事務所 飯山養護学校・株式会社フジすまいるファーム飯山 まいさぼ中野・まいさぼ飯山・中野市びあワーク・マッシュルーム NPO法人ぱーむほいす・山ノ内町ももの木・木島平村つくしの家 相談支援事業所	宮崎 湯本 森山	●部会(年3回) ●3つの委員会活動の実施 ①就業生活をサポートするための関係機関との連携及び体制確認 ②各委員会が把握する課題を共有し、取り組む方向性の確認 ＜成果＞ ①個別のケース検討を通じた支援視点の整理と各関係機関の役割分担 ②「合理的配慮学習会」の実施 ③地域で働く障がい者の紹介(ローカル紙)	●部会(年3回)と委員会活動 圏域内の就労継続支援事業所を中心にご参加頂き、障がい者雇用促進のための連携強化と支援力の向上を目指す。 ①圏域内企業にむけた障がい者雇用促進のための働きかけと検討 ②個別課題の抽出と支援視点の検討 ③引き続き地域で働く障がい者の紹介(ローカル紙)
本人中心部会	障がいのある方がこの地域で安心して自発的に生活できるよう、ニーズに沿ったより良いサービスの提供ができる地域をつくるために活動する。当事者が積極的に活躍できる場を広げ、当事者主体の活動を後方支援していく。	つくしの家 管理者 堀内様	つくしの家・ももの木・マッシュルーム・びあワークりんごの木・竹馬 常岩の里ながみね・のぞみの郷高社・ふつくら工房ふるさと 中野市デイホームこころ・サービスセンターりんく・すみれの家 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所	石田 久保田 徳竹	●3つの委員会活動 ①余暇活動を中心にした地域のマップ作りへを前提に、「余暇を楽しみたい意識・希望のある方」を対象に25名の方のお話を伺った。 ②当事者向けに、暮らしの場・働く場・楽しく過ごす場所の見学会を、合計6回実施。 ③当事者が実行委員となり企画・実施できるよう後方支援。 ＜成果＞当事者から聴いたお話を部会活動につなげたり、当事者活動の後方支援に重点を置いた取り組みを、各委員会が運動して行えた。	●4つの委員会活動を各委員会で運動して行う ①ニーズ聴きたい・つなげたい 想いの受け止め活動(入所施設で生活されている方を対象に) ②出かけるところ見つけたい 外出時に必要な情報を掲載した冊子の作成に向けて取り組んでいく。 ③いってみてやって委員会 当事者向けの事業所等の見学・体験ツアーの実施 ④みんなで楽しむ会 当事者活動の後方支援
サービス向上部会	地域の支援者の支援力の底上げをめざし、障がい理解や適切な支援ができる人を地域に増やしていく事を狙いとする。また、横のつながりを大切に、情報共有の中から地域の課題の把握・提案を行っていく。	山ノ内町社協 局長 鈴木様	北信保健福祉事務所福祉課 中野市社会福祉協議会・飯山市社会福祉協議会・山ノ内町社会福祉協議会 木島平村社会福祉協議会・野沢温泉村社会福祉協議会・栄村社会福祉協議会 (有)ゆりかご・NPO法人ここから・はるかせ・いこいの里 中野キッズはぐみ・こどもプラス・メゾふおるて・中野ボルカ 青りんご・ケアホーム希望・サービスセンターりんく・やまとサービスセンター 常岩の里ながみね・相談支援事業所	井出 森山 久保田 徳竹	●部会(年4回)・・・各研修会の企画・振り返りや、情報共有・課題検討等 ●研修会(年4回) 部会員で各研修会の担当者を決め、研修会の企画を行った。 ＜成果＞現場の悩みや困り感等を話し、また現場ですぐに活かせる物を持ち帰って頂けるように、グループワークを取り入れた研修会を実施し好評を得ている。また、地域生活支援拠点等事業の整備に伴い、部会でも情報共有を行うことで地域の課題が明確になってきている。	●部会(年4回) 今年度のテーマを「支援者も元気になる!!」とし、ヘルパー、暮らしの場、児童の3つのグループに分かれ、テーマに沿って、情報共有・課題検討を行っていく。 ●研修会(年4回) 主な対象者は現場の支援者とし、支援者も元気になれるような研修会を企画・実施する。
精神部会	精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう入院中から医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。	栄村健康増進係 保健師 樋口様	北信保健福祉事務所福祉課・健康づくり支援課 中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 北信総合病院・佐藤病院・飯山赤十字病院 つくしの家・りんごの木・NPOここから 中野市デイホームこころ・飯山市地域活動支援センター サービスセンターりんく・ふつくら工房ふるさと・相談支援事業所	市村 門脇 徳竹	●部会(年5回) ①長期入院者等との面談・・・19名の方との面談を実施。 ②部会内での事例検討・・・アドバイザーを招いて部会内で3回実施。 ③地域への啓発・研修会を実施。多くの方にご参加いただき好評を得た。 ④仲間としゃべろう会虹の継続(月1回)。 ＜成果＞PJに分けず、部会として一体化した活動を行う事で、特に事例検討の際には様々な立場から意見交換が行え、学びが深まると共に連携体制を強めることにつながった。	●部会(年5回) ①長期入院者等との面談の継続 ②事例検討(地域移行の事例や高齢分野との連携の事例等) ③地域に向けた啓発・研修の継続 ④仲間としゃべろう会虹の継続 ⑤精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議
そだちネットワーク部会	様々な障がいや困り感を持っている子ども及び家族の気持ちに寄り添いながら、子どもや家族を支える地域の関係機関の連携体制を構築していくことを目的とする。 ～4つの基本的柱～ ①子どもの困り感や特性に合わせた支援 ②家族の気持ちに寄り添う支援(障がい受容プロセスの伴走者であること) ③関係機関のネットワーク機能の充実 ④重心・医ケア	飯山養護学校 校長 高山様	飯山養護学校・北信保健福祉事務所健康づくり支援課・福祉課 中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 中野市教育委員会・飯山市教育委員会・山ノ内町教育委員会 木島平村教育委員会・飯山学園・いちご学園・ゆきんこ園・相談支援事業所	市村 坂爪 高橋 邊田	●部会(年5回):各WGでの活動を中心に検討した。 ①子どもの困り感や特性に合わせた支援WG ②家族の気持ちに寄り添う支援WG ③関係機関のネットワーク機能の充実WG ④重心・医ケアWG ●飯山養護学校特別支援教育連携協議会との連携 ＜成果＞ ・重心・医ケアWGでは実態調査報告と親の会の実施を行った。 ・H30/7/7に発達障がい支援フォーラムを実施する事が決定。フォーラム実行委員会の中で開催に向けて準備を進めていく。 ・各WGは昨年度の活動に引き続き検討を深めていく。	●部会(年5回)4つのWGでの活動を進めていく。 ①小学校から中学校の支援が途切れない為のシステム作りの検討。 ②家族の発達障がいの理解や受容に焦点を当てて取り組む ③支援者がチームを作るためのツールの検討 ④実態調査のまとめと、課題検討・親の会の開催にむけての検討 ●発達障がい支援フォーラム開催にむけて フォーラム実行委員会を中心に取り組んでいく ●飯山養護学校特別支援教育連携協議会との連携 連携協議会事務局を運営委員会メンバーに加え連携していく
権利擁護部会	障がい者、高齢者等の権利をどう支えていくかについて、幅広い観点から、関係機関の連携協力体制を強化していく中で、誰もが住みやすい街づくりを目指していく。	山ノ内町社協 次長 山口様	中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 中野市社会福祉協議会・飯山市社会福祉協議会・山ノ内町社会福祉協議会 木島平村社会福祉協議会・野沢温泉村社会福祉協議会 栄村社会福祉協議会・ひまわり長野・リーガルサポートながの ばあとあながの北信支部・北信圏域権利擁護センター サービスセンターりんく・のぞみの郷高社・常岩の里ながみね 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所	井出 市村 徳竹	●部会(年6回) ①啓発PJ・・・「権利擁護」をわかりやすく伝える啓発活動の継続 ②地域連携PJ・・・成年後見制度の首長申立てや利用支援事業の活用について、圏域内の状況を共有。 ③差別解消支援地域協議会検討PJ・・・市町村課題検討WGとキャッチボールをしながら検討を進め、素案を作成。 ＜成果＞部会全体で「誰もが住みやすい街づくり」「虐待につながるかもしれない日々の気づき」についてWGを行い、各PJ活動に活かす事ができた。	●3つのPJで連携しながら活動を行っていく。 ①啓発・研修PJ・・・「権利擁護」をわかりやすく伝えていく。12月に地域に向けた研修会を実施する。 ②地域連携PJ・・・成年後見制度利用促進基本計画を進めていくための中核機関の設置について提案できるよう検討を進める。 ③差別解消支援地域協議会検討PJ・・・市町村課題検討WGとキャッチボールしながら、設置にむけて詳細を詰めていく。
幹事会	北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要なとされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。	中野市福祉課 課長 町田様	中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所※必要に応じて部会長の参加 ●課題検討ワーキング ●ケアプラン研究会 ●地域生活支援拠点等検討会 ●地域資源開発プロジェクト ・就労アセスメント体制整備PJ	井出 市村 徳竹	●幹事会(年5回) 相談支援専門員の活動報告を受け、地域の課題について検討 ●市町村課題検討WG(年12回) ・サービス等利用計画の内容の精査・適切なプランの視点を学習 ・圏域内の相談支援専門員との情報共有・意見交換会の実施 ・障害者差別解消支援地域協議会設置についての検討 ・第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の作成 ●地域生活支援拠点等事業検討会議(年12回) ＜成果＞第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の策定	●幹事会(年5回) 相談支援専門員や各部会等からの報告を受け、地域の課題についての検討を継続していく。 ●市町村課題検討WG(年12回) ・ケアプラン研究会の継続(相談支援専門員との合同開催も予定) ・圏域内の相談支援専門員との情報共有・意見交換会の実施 ・第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の進捗確認 ・地域生活支援拠点等事業の整備・拡充に向けた検討
協議会	北信圏域の障がい者福祉にかかわる関係機関の連携と協力を構築し、地域の障がい者福祉の更なる向上を目指すことを目的とする。	中野市福祉課 課長 町田様	別紙構成機関	井出 市村 徳竹	●協議会(年3回) ・第4期障害福祉計画の振り返りと、第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の承認 ・「誰もが住みやすい街づくり」をテーマにグループワークを行い、北信地域の課題を抽出 ＜成果＞上記グループワークを通じて、協議会全体(各部会も含め)で地域づくりを考える事ができた。	●協議会(年3回) ・地域生活支援拠点等事業の拡充 ・障害者差別解消支援地域協議会の設置 ・第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の進捗管理 ・協議会の地域に向けた啓発